

みずほCustomer Desk Report 2020/06/29 号 (As of 2020/06/26)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	107.13
TKY 9:00AM	107.16	1.1219	120.21	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	107.36	1.1239	120.37	1.2421	0.6888
SYD-NY Low	106.80	1.1196	119.83	1.2436	0.6895
NY 5:00 PM	107.21	1.1218	120.32	1.2314	0.6841
				1.2338	0.6865
NY DOW	25,015.55	▲ 730.05	日本2年債	-0.140	1.00bp
NASDAQ	9,757.22	▲ 259.78	日本10年債	0.010	0.00bp
S&P	3,009.05	▲ 74.71	米国2年債	0.167	▲1.96bp
日経平均	22,512.08	252.29	米国5年債	0.300	▲3.00bp
TOPIX	1,577.37	15.52	米国10年債	0.639	▲4.26bp
シカゴ日経先物	22,300.00	▲ 200.00	独10年債	-0.4840	▲1.65bp
ロンドンFT	6,159.30	12.16	英10年債	0.1710	1.80bp
DAX	12,089.39	▲ 88.48	豪10年債	0.8850	0.00bp
ハンセン指数	24,549.99	▲ 231.59	USDJPY 1M Vol	5.80	▲0.03%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	6.48	▲0.08%
NY金	1,780.30	9.70	USDJPY 6M Vol	7.63	0.10%
WTI	38.49	▲ 0.23	USDJPY 1M 25RR	-0.93	Yen Call Over
CRB指数	134.41	▲ 0.96	EURJPY 3M Vol	8.15	▲0.15%
ドルインデックス	97.43	0.00	EURJPY 6M Vol	8.65	▲0.15%

東京	東京時間のドル円は107.16レベルでオープン。新型コロナウイルスの第二波警戒や、週末を控えて短期筋のやや調整的な売りが優勢となり、107円台前半を推移。値幅も19銭程度と狭く、107.09レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、107.09レベルでオープン。アジア時間の終盤でドルが売られた流れを引き継ぎ、下落。106.80まで下値を切り下げるとドルの買い戻しが入り、結局106.99レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2420レベルでオープン。材料不足で動意に欠いた値動きに終始。1.2389レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフリー 00531 444 179 マクルヒル)
ニューヨーク	海外市場のドル円は107円台前半でスタートし、目立った材料が見当たらない中、円買い優勢の流れとなり、一時106.80をつけ、106.99レベルでNYオープン。朝方は安値106.91をつける場面もあったが、米国内のコロナウイルス感染第2波への懸念が台頭し、米株が下げ幅を拡大する中、リスクオフのドル買いが強まり、107円台に乗せる。その後、フロリダ州で感染者数増加の加速や、テキサス州知事が州内のバーの営業停止やレストランの入店制限を命じたことが報じられ、米株安ドル高の流れが続き、一時107.36をつける。午後は一時700ドル超下落したダウ平均が下げ止まり、ドル買いも一巡したことから、107.11まで反落。終盤は週末前で積極的な取引が手控えられ、107.20近辺で小動きとなり、結局、107.21レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは、米国内の感染拡大を嫌気したドル買いと欧州株の堅調推移を好感したユーロ買いが交錯する中、1.1220を挟んだレンジでもみ合い。ラガルドECB総裁がウイルス問題を巡り「最悪期は恐らく過ぎたが、回復は不完全なものとなる」との見方を示すも、市場の反応は限定的で1.1210レベルでNYオープン。朝方はリスクオフのドル買いが進み、一時1.1196をつけるが、ユーロポンドの底堅い推移にサポートされ、この水準で下げ止まる。その後、ドル買いが一巡するとユーロ買いが優勢となり、1.1238まで上昇するが、ロンドン時間の高値(1.1239)を上げられず、反落。終盤にかけてダウ平均が再び下値模索と展開となる中、再びドルが買われ、結局、1.1218レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:逸見・大谷 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月26日	21:30	米 個人所得/個人支出(前月比)	5月 -4.2%/8.2%	-6.0%/9.3%
	21:30	米 PCEコアデフレーター(前月比/前年比)	5月 0.1%/1.0%	0.0%/0.9%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	6月 78.1	79.2

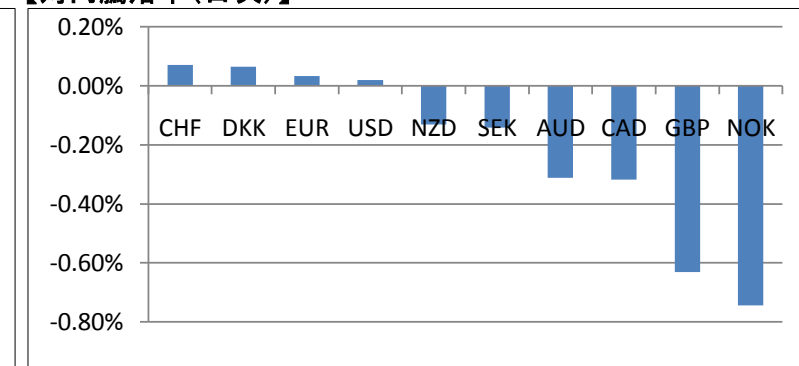
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月29日	18:00	欧 消費者信頼感・確報	6月 -	-14.7
	21:00	独 CPI(前月比/前年比)・速報	6月 0.3%/0.6%	-0.1%/0.6%
	23:00	米 中古住宅販売仮契約(前月比)	5月 18.0%	-21.8%
6月30日	00:00	米 デーリー・サンフランシスコ連銀総裁 講演	-	-
	04:00	米 ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】 荒れる相場に備えを

東京のコロナ感染者数は、緊急事態宣言解除後、3日連続で最多を更新し、二次感染リスクの高まりに直面している。一足先に経済活動を再開した欧米では、再度ロックダウンする都市や一部地域で制限解除を断念。すでに二次感染拡大に対する対応に追われている。新興国では、中南米を中心に今なお感染拡大中であり、ピークは夏以降ともされている状況である。月初、楽観ムードが漂っていた市場は、足元ではリスク回避的な姿勢を強めており、米株や原油が下落する中で、有事のドル買いが強まっている格好だ。各国中銀の積極的な金融支援策によって、3月に起きたドル調達コストの急騰や原油価格の下落など、パニック的な相場が再来する可能性は低いように感じる。しかし、コロナが完全に収束しない限り、強い不透明感が残り続け、市場の神経質な展開は継続するであろう。今年にはコロナ問題を抱えながら、米大統領選挙というビックイベントを消化しなければならない。コロナ対応で後れを取ったトランプ大統領は、デモ騒動も相俟って支持率を下げ、民主党候補のバイデン氏が有利となっている。巻き返しを狙うトランプ氏が、得意の対外強硬路線を強化することで、市場が荒れる可能性がある。一方でバイデン氏がこのまま勝利すれば、政治的なサプライズとなり、2016年の大統領選を彷彿とさせる。当時のドル円は、トランプリスクが意識される中、120円台から100円割れまで円高が進行した後、トランプラリーによって115円台まで上昇。誰もが予想しない非常にボラタイルな相場つきとなった。どちらの候補者が大統領選で勝利しようとも、いずれも波乱含みの展開が想定されよう。コロナ問題という未曾有の危機と大統領選挙という予測困難なトピックスに対して、今年のドル円は相応に振られる展開となるであろう。日頃、為替ヘッジに取り組まれている事業会社様におかれましては、今年度だけでも早めのヘッジを推奨する(逸見)

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	関	牛島	山岸	田坂	尾身	上野
ベア	ベア	ブル	ブル	ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア
山口	小野崎	玉井	原田	大庭	高村	松本	逸見	大谷	小林
ベア	ブル	ベア	ベア	ブル	ベア	ベア	ベア	ベア	ベア

ブル	ベア
6	14